

静岡から世界へ

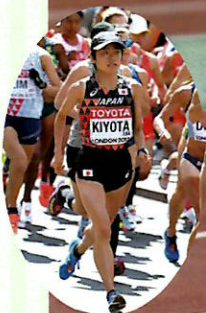


静岡 陸協 会報

第 23 号 (2018年 3月25日発行)

一般財団法人
静岡陸上競技協会

〒420-8508
静岡市葵区鷹匠 1-14-31
吉野寿ビル 2F
TEL・FAX 054-253-9801



ロンドン世界選手権銅メダル

男子4×100mリレー 飯塚翔太選手

挨拶



静岡陸上競技協会
理事長 新谷誠規

平成二十九年度の静岡陸協と県東中西部陸協主催・主管競技会及び行事関係は、各地区審判講習会を残し大きな問題もなく順調に運営できました。

四月一日に行われた小中学生陸上競技種目別大会・春季東部記録会を皮切りに、競技会は年間百十二を数えます。それに各市町陸協主催の競技会五十三を加えると実に百六十五回になります。夏の猛暑傾向などもあり、選手も審判員もストレスを感じながらの競技会もたくさんありました。ひとえに陸協関係者のご尽力の賜物と大変感謝申し上げます。

ところで、静岡県中学校体育連盟の平成二十九年度運動部活動実態調査によると、陸上部の設置校数は平成十一年の三百五十一校から、百六十五校減の百八十六校となっております。九年間で約半分に減少しております。それに反し、新しく駅伝部を設置した学校は三十三校を数えました。

陸上競技を取り巻く環境が大きく変化してきています。諸課題に対し柔軟に対応できる陸協が求められています。会員の皆様の力をお借りし、静岡の陸上競技を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

今年度の顕彰関係

愛媛国体会場にて

秩父宮章

稲葉勝巳氏

高等学校優秀指導者章 川口雅司氏

中学校優秀指導者章 三輪徹久氏

競技者育成章 清 尊徳氏

競技者育成章 佐藤常保氏

静岡新聞社にて(静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞)

優秀指導者賞 澤井猛英氏

優秀選手賞 安藤友香(マラソン)

優秀選手賞 清田真央(マラソン)

奨励賞 太田蒼翔(走高跳)

奨励賞 細川 陸(八百米)

静岡県三地区報告

東部陸上競技協会

東部陸上競技協会理事長 神山心一
 常日頃より、東部陸上競技協会にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度より理事長に就任いたしました。今後ともよろしくご指導の程お願いいたします。さて

四月の春季記録会を皮切りに東部陸協の主催事業が始まりました。四月十五・十六日の東部選手権大会・七月二十三日の東部カーニバル・九月二日の東部中学新人大会と多くの審判員の方ご協力で大会を無事終わる事が出来ました。誠にありがとうございます。東部陸協では、普及部・強化部を中心に競技者の競技力向上を目指して、毎年十一月より中学・高校で強化練習会を実施しています。特に中学から高校への橋渡しが重要なことから今年度は、県陸協で中学生三年生のトップアスリートを指定選手として認定し、過日、東部陸協では十八名の選手及び保護者の出席の下、指定証授与式を行いました。高校へスムーズな移行が出来ることを期待したいと思えます。又、普及部に於いては、今年から「東部小学生強化トレセン記録会」として該当種目ランキング男女十名を集め、各少年団の指導者や保護者等の協力で三回の記録会・練習会を行いました。小学校から中学校への移行の大切さを感じます。競技成績の面では、紙面上の制約があり

ますが、全国小学生陸上では女子四〇〇m Rで伊東陸上が見事優勝に輝き、中伊豆A Cの小早川さんが八〇m Hで準優勝でした。全国中学陸上では男子八〇〇m

で沼津第五中の細川君が東部七年ぶりの頂点に立ちました。高校総体では男子ハノマー投げで伊東高の殿岡君が七位。入賞者が男女合わせて一人であり、今後、強化練習会の効果を期待したいと思えます。国体は山本さん（グラッチェ静岡A C）が成年女子走り高で準優勝に輝きました。又、大学や実業団の東部地区出身の選手には、今後、専門コーチとの連携

で二〇二〇年の東京オリンピックを見据えて頑張つて戴きたいと思えます。東部地区から日の丸を背負える選手が出ることを心より期待したいと思います。顕彰関係では愛媛国体で前理事長の稲葉勝巳氏が秩父宮章・県高体連委員長の川口雅司氏が高校優秀指導者章を受章されました。東部陸協栄彰者と審判員表彰者の氏名は先の東部カーニバル時に報告した事

事で了解して戴きたいと思えます。終わりに、平成二十九年九月二日東部中学新人に競技場に向かう途中、審判員が不慮の事故に会い、尊い命を失った事は理事長として痛恨の極みであります。審判員の皆様！ぜひとも交通安全に注意し、元

気で・健康で東部陸協を引き続きご支援して戴きたいと思えます。一年間有難うございました。

中部における競技力の強化・普及の現状と課題

中部陸上競技協会理事長 末高義美
 平成二十九年が終わり、平成三十年になりましたが、中部陸協にとつて二十九年はどんな年だったでしょうか。



県陸協の会長・理事長が中部陸協の担当となり、北澤晴樹会長・新谷誠規理事長が就任されました。北澤会長は中部陸協の会長も兼任され、大変ご苦労されています。

そうした中で中部地区の小・中・高校生の選手の活躍ぶりというところ、橋田結菜（静岡市陸上教室）
 全国小学生交流大会五・六年女子走高跳 五位

鈴木 翼（静岡長田南中）
 全中八〇〇m 四位
 細谷愛子（静岡東中）
 JOP八〇〇m 優勝

静岡東中
 女子全日中駅伝競走大会 三位
 高木悠圭（東海大翔洋）
 IH二〇〇m 二位

榎尾珠莉（東海大翔洋）
 IH男子八種 五位
 望月知葉（藤枝明誠）
 IHやり投げ 八位

I H やり投げ 八位
 が挙げられます。全体的には全国大会出場者数の減少が目立つ中、これらの活躍は輝かしいものがあります。

さらなる活躍を求めて中部陸協では中学・高校の指導者を中心に様々な取組をしています。例えば、中学生と高校生の選抜選手による合同練習会や、著名な講師を招いての指導者講習会を中学・高校の指導者を中心に実施しています。こうした取組により中学・高校の壁が取り除かれ、選手同士の交流はもろろん、顧問同士の交流も深まってきています。協会としてはできる限りの援助やバックアップをしていくつもりです。

次に普及につながるのですが、各大会の充実につながる競技審判員の確保が挙げられます。昨年も書きましたが審判員の高齢化と若手の審判登録者不足です。これについては協会としても中部地区の大学生の審判登録の推進を図る努力をしています。昨年からは静岡大学に加え、静岡県立大学の学生も登録してくれています。さらに常葉大学の草薙転移も一つの好機になればと考えています。それと、審判員同士が互いに声を掛け合い気持ちよく審判業務に就けることも参加者を増やすことにつながると思っています。

さらなる活躍を求めて中部陸協では中学・高校の指導者を中心に様々な取組をしています。例えば、中学生と高校生の選抜選手による合同練習会や、著名な講師を招いての指導者講習会を中学・高校の指導者を中心に実施しています。こうした取組により中学・高校の壁が取り除かれ、選手同士の交流はもろろん、顧問同士の交流も深まってきています。協会としてはできる限りの援助やバックアップをしていくつもりです。

さらなる活躍を求めて中部陸協では中学・高校の指導者を中心に様々な取組をしています。例えば、中学生と高校生の選抜選手による合同練習会や、著名な講師を招いての指導者講習会を中学・高校の指導者を中心に実施しています。こうした取組により中学・高校の壁が取り除かれ、選手同士の交流はもろろん、顧問同士の交流も深まってきています。協会としてはできる限りの援助やバックアップをしていくつもりです。



中部陸協としては様々な問題・課題を抱えていますが、中部の強化・普及のために努力していきますので、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

一年の活動を振り返って

西部陸上競技協会理事長 **森下 哲治**
 平成二十九年度の西部陸協の大会も、浜松シティマラソンを残すのみとなりました。大会を無事に終了することができましたのも、会員の皆様方のご協力の賜と感謝申し上げます。

さて本年度は、ロンドンで世界選手権が開かれ、西部地区に関係した選手も多数出場いたしました。男子では、スズキ浜松A Cからやり投げの新井涼平選手、十種競技に右代啓祐選手と中村明彦選手。女子では、スズキ浜松A Cの海老原有希選手がやり投げで、安藤友香選手と清田真央選手がマラソンに出場しました。そして、静岡県出身の飯塚選手が出場し、銅メダルに輝いた、男子四×一〇〇m Rも、私たちに感動を与えてくれました。

このほか、インドでアジア選手権が開かれ、スズキ浜松A Cの川元奨選手が八〇〇mに出場。また、フランスで行われたデカネーションには、スズキ浜松A



Cの原翔大選手が二〇〇mに出場し二位。川元奨選手が八〇〇mに出場し優勝しました。

いよいよ、二〇二〇年の東京オリンピックも近づいてきました。この西部地区からも、たくさんの方がオリンピックに出場できるように、西部陸協としても応援していきたいと思っております。

本年度の全国大会の優勝者は、左記のとおりでした。

- 日本陸上選手権大会
 - ・男子八〇〇m
 - 川元 奨(スズキ浜松A C) 1分47秒00
 - ・男子やり投げ
 - 新井涼平(スズキ浜松A C) 82m13
 - ・女子やり投げ
 - 海老原有希(スズキ浜松A C) 60m64
 - 日本選手権混成陸上大会
 - ・男子十種競技
 - 中村明彦(スズキ浜松A C) 7873点
 - 全国高校定通制陸上大会
 - ・男子一〇〇m
 - 遠山亮太(クラーク浜松) 10秒99
 - ・男子二〇〇m
 - 遠山亮太(クラーク浜松) 22秒05
 - ・女子砲丸投げ
 - 馬場未空(浜松大平台) 8m86
 - 全日本中学陸上大会
 - ・男子走高跳
 - 太田蒼翔(磐田竜洋) 1m96
 - 全国小学生陸上交流大会
 - ・六年女子一〇〇m
 - 木村美結(掛川陸上) 12秒78
 - ・五年女子一〇〇m
 - 榊原心美(浜松陸上) 13秒41
- このほか、全国高校駅伝に、男子の浜



松日体高校と女子の常葉大学菊川高校が静岡県代表として出場しました。その結果、浜松日体高校が素晴らしい走りを見せ、見事六位入賞を果たしました。

さて、今年度から県陸協では、全日中、ジュニアオリンピック、都道府県駅伝に出場した中学三年生に対して、『ジュニア・スパー・アスリート』という認定証を与えることが決定し、授与いたしました。西部地区では三十七人の選手が該当し、高校に入学後の活躍も期待しております。この選手たちが、高校入学まで練習を継続して行けるよう、東部・中部・西部の各地区で、それぞれ冬季の練習会を行うことになりました。西部においては、強化・普及部と若手の指導者を中心に、月に二回程度の練習会を計画し、行っております。参加は強制ではありませんが、練習の継続の機会をつくり、競技力の維持・向上につながればと考えております。この取り組みは、来年度以降も継続する予定です。

最後になりましたが、会員の皆様には、健康に十分留意され、来季におきましても、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

H29指導者講習会より

短距離の指導について

講師 高橋和裕先生

(1) 二〇二〇にむけて

静岡県から飯塚選手のようなメダリストを輩出したい。

(2) 自身の競技経験から

他競技から陸上競技への転向に大きな可能性を感じる。

(3) 選手に必要な要素

- ①肉体系 基礎体力とボディコントロール
- ②精神面 素直さ、謙虚さ、感謝の心、信頼関係

(4) 指導のポイント

・陸上競技を通じて社会性を養う。ミーティングを重視。
 ・直感を大事にする。目標とする動きを徹底的に身につける。
 ・何事にも全力で取り組ませる。

質疑応答

Q1 女子に対する指導法は

A1 走る本数を重ねる。ウエイトでMAX測定する。

Q2 腕振り指導は

A2 脚の接地と同じタイミングで腰の横を通過させる。

Q3 中学で冬季に距離を踏ませること

A3 あまり良いと思わない。オリンピックを育てるため中学では短いダッシュを重視して欲しい。



第十八回 静岡州市町対抗 駅伝競争大会

市の部 浜松市北部
町の部 函南町

県内の全三十九市町が参加しました。県庁前をスタート地点とし、静岡市葵区く清水区く駿河区を走り抜け、ゴール地点である草薙陸上競技場まで十一区間四二・一九五キロのコースで競われました。結果は、市の部は浜松市北部が2時間12分39秒で優勝し、町の部は函南町が2時間18分43秒で優勝しました。

全国中学・高校駅伝での活躍

**女子の部 三位入賞
静岡東中学**

二〇一七年十二月、全国中学駅伝大会が、滋賀県希望が丘文化公園で行われ、五区間一二キロの女子の部で、初出場の静岡東中学が、41分51秒のみごとに三位に入賞しました。



- 一区 川瀬 真由(二)
- 二区 細谷奈津子(三)
- 三区 西條 那菜(一)
- 四区 平塚 心南(二)
- 五区 細谷 愛子(二)

**男子の部 六位入賞
浜松日体高校**

全国高校駅伝大会は二〇一七年十二月、京都市西京極陸上競技場発着のコースで行われました。男子の部七区間四二・一九五キロのコースで、浜松日体高校が、2時間5分55秒で六位に入賞しました。



- 一区 太田 直希(三)
- 二区 河合俊太郎(三)
- 三区 鈴木 創士(二)
- 四区 上杉 綾(三)
- 五区 松島 彰吾(三)
- 六区 西沢 侑真(二)
- 七区 鈴木 尚輝(三)

Photograph

- 静岡州市町対抗駅伝競争大会
- 静岡リレーカーニバル
- 静岡県中学通信陸上大会



(編集)

県陸協広報委員会・県陸協事務局
水谷陽介(編集・文責)
橋本美智夫(編集委員)
写真(陸協報道 太多和幸二)
(印刷・大日三協株)